

## 令和7年度第3回横須賀市観光振興推進委員会 議事概要

### ■令和7年度の観光関連施策に関する意見

#### ・東京九州フェリー

：北九州と横須賀で食を通じた相互交流の可能性を指摘。

#### ・日本遺産

：姉妹都市の富岡市との連携だけでなく、全国的な展開の可能性について提案。

：富岡や会津との連携について、具体的なアクションプランへの落とし込みが必要。

#### ・インバウンドに向けた取り組み

：北斎を軸としたツアーについて、他の関連自治体（小布施、東京など）との広域連携の可能性を示唆。

：北斎は非常に強いコンテンツであると評価。JNTOとの連携強化の必要性を指摘。

：横須賀で北斎ツアーが企画されたことに面白みを感じる。北斎と横須賀の意外な繋がりをPRする面白さを指摘。

：米軍基地関係者や長期滞在する外国人技術者層（年間数万人の規模）へのアプローチが不足している点を指摘。鎌倉が米軍関係者向けの観光案内を行っていることにも触れ、横須賀への誘致の可能性を提言。

：久里浜にある独立行政法人港湾空港技術研究所にもエリート層の外国人実習生が多く来ているため、産業観光としての連携可能性を指摘。

#### ・夜間観光とグルメの課題

：施策は素晴らしいが、夜間観光とグルメが手薄だと指摘。美術館やティボティエ邸などの夜間活用、メタバースでの夜間PR、点在するグルメ店舗の可視化と二次交通との連携を提案。

：横須賀の食は良い素材があるものの、ブランドイメージが不足している点を指摘。

：北九州市と比較し、横須賀も大衆居酒屋の聖地として夜間観光の可能性を提言。

#### ・二次交通の強化

- ： スタートアップのリムモと京急の取り組みや、将来的な自動運転の可能性に言及。
- ： 二次交通の鍵は三浦半島であり、移動しにくいエリアもあると指摘。
- ： 国の国際観光旅客税（出国税）増額分が交通インフラ改善にも充てられる可能性に言及。
- ： 浦賀整備後の、中央から海路で浦賀へのアクセスにも期待を示した。

#### ■令和8年度予算の概要（観光関連抜粋）に関する意見

##### ・自然・人文博物館のリニューアルとペリー関連施策

： 久里浜のペリー公園の施設が未整備で、歴史的価値が十分に活かされていないと強く指摘。ペリー上陸記念碑周辺の記念館の充実、カフェ設置、博物館の優良資料の移管など、大規模な刷新を提案。

： 博物館のリニューアルは文化観光拠点施設化を視野に入れていると述べ、ペリー関連施設をそのサテライトとして充実させる可能性に言及。

##### ・大河ドラマ等の活用

： 主人公小栗上野介忠順ゆかりの地である高崎市との連携、グリーンエキスポやディスプレイネーションキャンペーンとの連動による広域プロモーションを提案。

##### ・その他

： 市民が積極的に参加できるものとしてフルマラソンの開催検討を提案。